

学内連絡バスの運行状況

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年11月2日）

学内連絡バスの運行状況の改善を要望いたします。

現在、京都大学では

吉田→桂 15便（所要時間 55分）

桂→吉田 14便

吉田→宇治 8便（所要時間 50分）

宇治→吉田 8便

桂→宇治 3便（所要時間 45分）

宇治→桂 3便

合計 51便（延べ運行時間 2665分）

の運行を行っております。

しかし、そもそもの本数が少なく、また運行間隔が不均一であるため、長時間の待機を強いられるなど非常に不便であります。さらに、時間帯によっては、満員により乗車拒否される場合もあります。

このような状態では、研究室の性格上、複数のキャンパスを頻繁に行き来する必要がある場合、日々の生活や研究活動に支障をきたします。

例えば、大阪大学は、京都大学と同じように、近畿に複数キャンパスを有する国立大学法人であります。その学内連絡バスの運行状況は、

豊中→吹田 33便（所要時間 30分）

吹田→豊中 32便

豊中→吹田→箕面 14便（所要時間 40分）

箕面→吹田→豊中 14便

豊中→箕面 3便（所要時間 35分）

箕面→豊中 5便

合計 101便（延べ運行時間 3080分）

と、京都大学のほぼ2倍の便数、運行時間も1.2倍程度となっております。

さらに、

- ・パターンダイヤ採用による利便性の確保
- ・利用の多い時間帯の便は2台運行
- ・始発便 7:40 発、最終便 20:35 着と長時間の運行

など、非常に利用しやすい環境を整えています。

キャンパスを分割し、いずれかのキャンパスでしかできないことが存在する状況を作り出したのであれば、せめてその移動を円滑に行えるようにする責務が当局にはあるかと思えます。

同じ近畿の国立大学法人である大阪大学が、所要時間の違いはあるものの、これだけの利便性を確保している現状を鑑み、京都大学における学内連絡バスの運行状況の改善を要望します。

【回答】（回答日：2019年11月8日）

（施設部プロパティ運用課）

吉田・宇治・桂のキャンパス間連絡バスにつきましては、学生・教職員の授業や学内会議等への出席の際のキャンパス間移動の不便さ解消・利便性の向上を、その運行の目的・趣旨としております。

今回、運行状況の改善についてご要望を頂きましたが、予算の確保を始めとしたさまざまな制約があり、現時点においては増便についてのご要望にお応えすることは困難な状況です。（現行の便数の中でのダイヤ改正については、可能な範囲で対応しており、この10月からは宇治－桂間の運行ダイヤの変更も行っております。）

ご要望にお応えできず、申し訳ございませんが、ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

この度は貴重なご意見を頂きありがとうございました。